

# 道路建設事業の再評価項目調書

事業名	一般国道373号 志戸坂峠道路	事業主体	中国地方整備局						
所在地	岡山県英田郡西粟倉村影石 ~ 鳥取県八頭郡智頭町市瀬								
事業概要	<p>一般国道373号は、兵庫県赤穂市を起点とし、鳥取市へ至る延長約70kmの主要幹線道路である。</p> <p>志戸坂峠道路は一般国道373号の岡山・鳥取県境に位置し、現道の隘路区間の解消、冬期交通の安全確保を目的とした延長17.9kmの道路である。</p>								
事業着手	昭和52年度								
総事業費	約900億円	既投資額	平成14年度末まで 約550億円（進捗率61%）						
再評価の視点	事業の必要性に関する視点	<p>ア)事業をめぐる社会情勢等の変化</p> <p>当該路線は、鳥取と京阪神を結ぶ重要な幹線道路であるが、平面・縦断線形ともに劣悪な状況であり、車輛のすれ違い困難な箇所が存在するとともに、冬期には降雪による通行障害が発生しており、交通安全の確保が急務となっている。</p>							
	イ)費用便益分析	<p style="text-align: right;">（残事業） / （事業全体）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">道路事業に要する費用</th> <th style="width: 50%;">道路整備による効果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>・総費用 評価対象期間内 = 整備期間 + 40年</p> <p>（ 総事業費 900億円 残区間整備に必要な事業費 287億円 現在価値換算事業費 231 / 1,076億円 ）</p> <p>事業費 231 / 1,076億円</p> <p>維持管理費 29 / 124億円</p> <p>総費用（C） + = 260 / 1,200億円</p> </td> <td> <p>走行時間短縮便益 422 / 1,174億円</p> <p>走行経費減少便益 64 / 130億円</p> <p>交通事故減少便益 12 / 24億円</p> <p>総便益（B） + + = 498 / 1,328億円</p> </td> </tr> <tr> <td>費用便益分析の結果</td> <td colspan="2"> <p>前回評価時 B / C = - / -</p> <p>今回評価 B / C = 1.9 / 1.1</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">「費用便益分析マニュアル」による (H15.8.1付国都街第39号、国道分評第15号通達)</p>		道路事業に要する費用	道路整備による効果	<p>・総費用 評価対象期間内 = 整備期間 + 40年</p> <p>（ 総事業費 900億円 残区間整備に必要な事業費 287億円 現在価値換算事業費 231 / 1,076億円 ）</p> <p>事業費 231 / 1,076億円</p> <p>維持管理費 29 / 124億円</p> <p>総費用（C） + = 260 / 1,200億円</p>	<p>走行時間短縮便益 422 / 1,174億円</p> <p>走行経費減少便益 64 / 130億円</p> <p>交通事故減少便益 12 / 24億円</p> <p>総便益（B） + + = 498 / 1,328億円</p>	費用便益分析の結果	<p>前回評価時 B / C = - / -</p> <p>今回評価 B / C = 1.9 / 1.1</p>
道路事業に要する費用	道路整備による効果								
<p>・総費用 評価対象期間内 = 整備期間 + 40年</p> <p>（ 総事業費 900億円 残区間整備に必要な事業費 287億円 現在価値換算事業費 231 / 1,076億円 ）</p> <p>事業費 231 / 1,076億円</p> <p>維持管理費 29 / 124億円</p> <p>総費用（C） + = 260 / 1,200億円</p>	<p>走行時間短縮便益 422 / 1,174億円</p> <p>走行経費減少便益 64 / 130億円</p> <p>交通事故減少便益 12 / 24億円</p> <p>総便益（B） + + = 498 / 1,328億円</p>								
費用便益分析の結果	<p>前回評価時 B / C = - / -</p> <p>今回評価 B / C = 1.9 / 1.1</p>								

便益算出の基となる交通量推計については、現在全国で高速自動車国道の整備方針を含め見直しが進められており、今回のB/Cは暫定値として示したものである。

事業名	一般国道373号 <small>しとさかとうげ</small> 志戸坂峠道路	事業主体	中国地方整備局
再評価の視点	<p>ウ)事業の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・円滑なモビリティの確保 (鳥取市から京阪神への高速バスの所要時間短縮など、利便性の向上が見込まれる)</li> <li>・国土・地域ネットワークの構築 (中国横断自動車道(姫路・鳥取線)と一体的に機能する自動車専用道路となる)</li> <li>・災害への備え (防災要対策箇所の回避が可能となる)</li> </ul> <p>エ)事業の進捗状況</p> <p>1. 主な経緯</p> <p>昭和52年度 事業着手(西粟倉<small>にしあわくら</small>～尾見間<small>おみ</small>)</p> <p>昭和52年度 用地買収着手(西粟倉<small>にしあわくら</small>～尾見間<small>おみ</small>)</p> <p>昭和52年度 工事着手(西粟倉<small>にしあわくら</small>～尾見間<small>おみ</small>)</p> <p>昭和56年12月 県境部(坂根<small>さかね</small>～駒<small>こま</small>帰間<small>がえり</small>)供用 L = 2.5 km</p> <p>平成3年度 事業着手(尾見<small>おみ</small>～智頭間<small>ちづつ</small>)</p> <p>平成6年12月 西粟倉<small>にしあわくら</small>～坂根<small>さかね</small>供用 L = 3.2 km</p> <p>平成7年度 用地買収着手(尾見<small>おみ</small>～智頭間<small>ちづつ</small>)</p> <p>平成9年4月 駒<small>こま</small>帰<small>がえり</small>～尾見<small>おみ</small>供用 L = 4.3 km</p> <p>平成9年度 工事着手(尾見<small>おみ</small>～智頭間<small>ちづつ</small>)</p> <p>平成10年度 事業再評価</p> <p>2. 事業の進捗状況</p> <p>工事の進捗状況</p> <p>再評価時の工事進捗率は約38%であったが、順次整備を図り、平成14年度末までの進捗率は約61%である。</p> <p>用地補償の状況</p> <p>再評価時の用地進捗率は約59%であったが、用地買収を促進し、平成14年度末までに約75%の用地買収を完了している。</p>		

事業名		一般国道373号 <small>しとさかとうげ</small> 志戸坂峠道路	事業主体	中国地方整備局
再評価の視点	事業進捗の見込み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用地の進捗見込み 現在、智頭IC（仮称）アクセス部の用地買収を促進しているところであり、平成15年度末には、約90%の進捗率となる見込みである。</li> <li>・工事の進捗見込み 現在、尾見IC（仮称）～智頭IC（仮称）間の工事を促進しているところであり、平成15年度末には約67%の進捗率となる見込みである。</li> </ul>		
	コスト削減や代替案の可能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・扁平なトンネル断面を採用し、内空断面を縮小することにより、コスト削減を図っている。</li> <li>・鋼橋上部工に耐候性鋼材の採用により、鋼橋を無塗装化することにより、コストの削減を図っている。</li> <li>・鋼橋の主桁本数の少数化を図り、コスト削減を図っている。</li> <li>・建設副産物の発生抑制（建設残土の現場内流用）や再生材（再生骨材等）利用等により、コスト削減に努めている。</li> <li>・また、 、 の視点による再評価より、代替案を検討する必要はないと考えている。</li> </ul>		
今後の対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業継続 平成18年度の尾見IC（仮称）から智頭IC（仮称）間の供用を目指し事業を推進する。</li> </ul>			

**一般国道373号  
志戸坂峠道路**

**平成16年1月  
国土交通省中国地方整備局**

# 位置図



# 事業概要

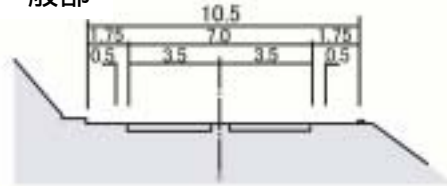
## ・起終点

(自)岡山県英田郡西粟倉村影石  
 (至)鳥取県八頭郡智頭町市瀬

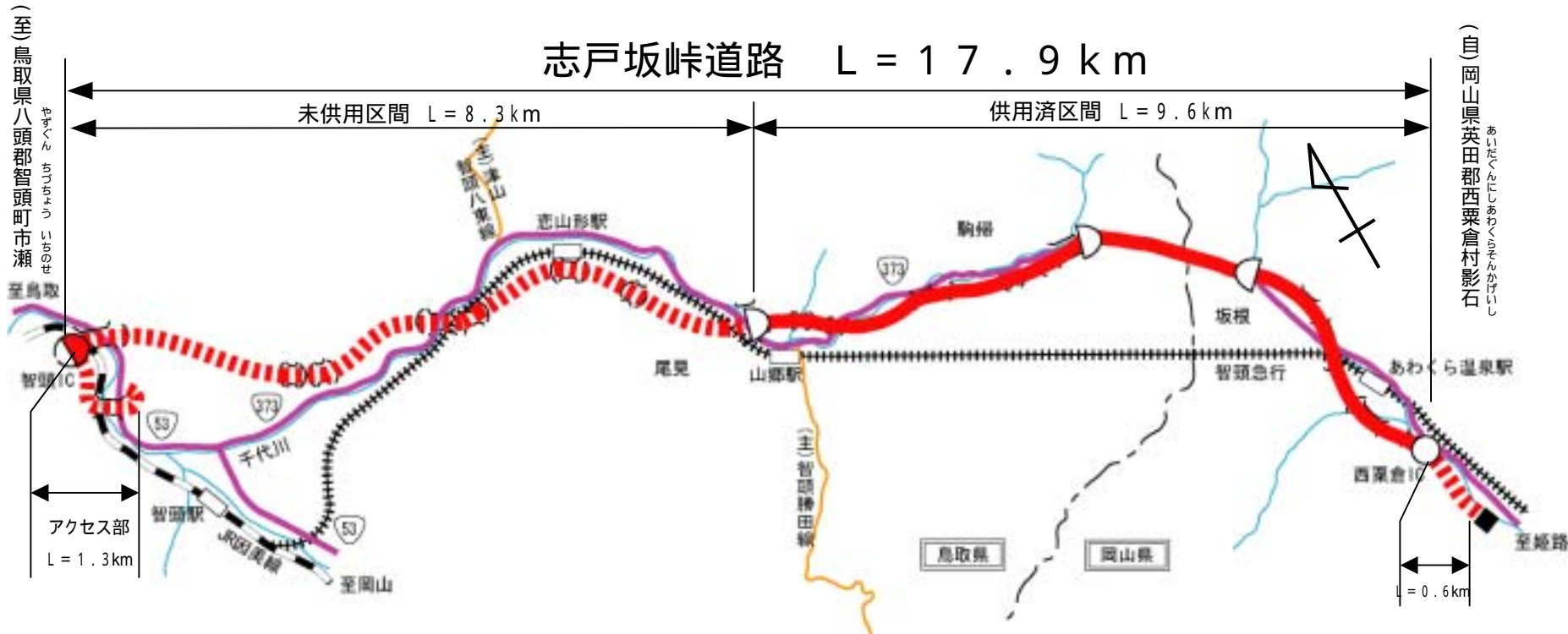
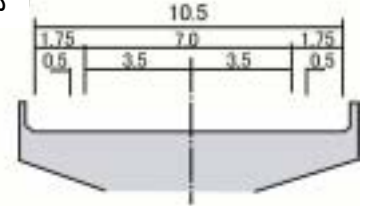
- ・ 計画延長 L = 17.9km
- ・ 幅員 W = 10.5m
- ・ 道路区分 第1種第3級
- ・ 設計速度 V = 80km/h

標準横断面図

一般部



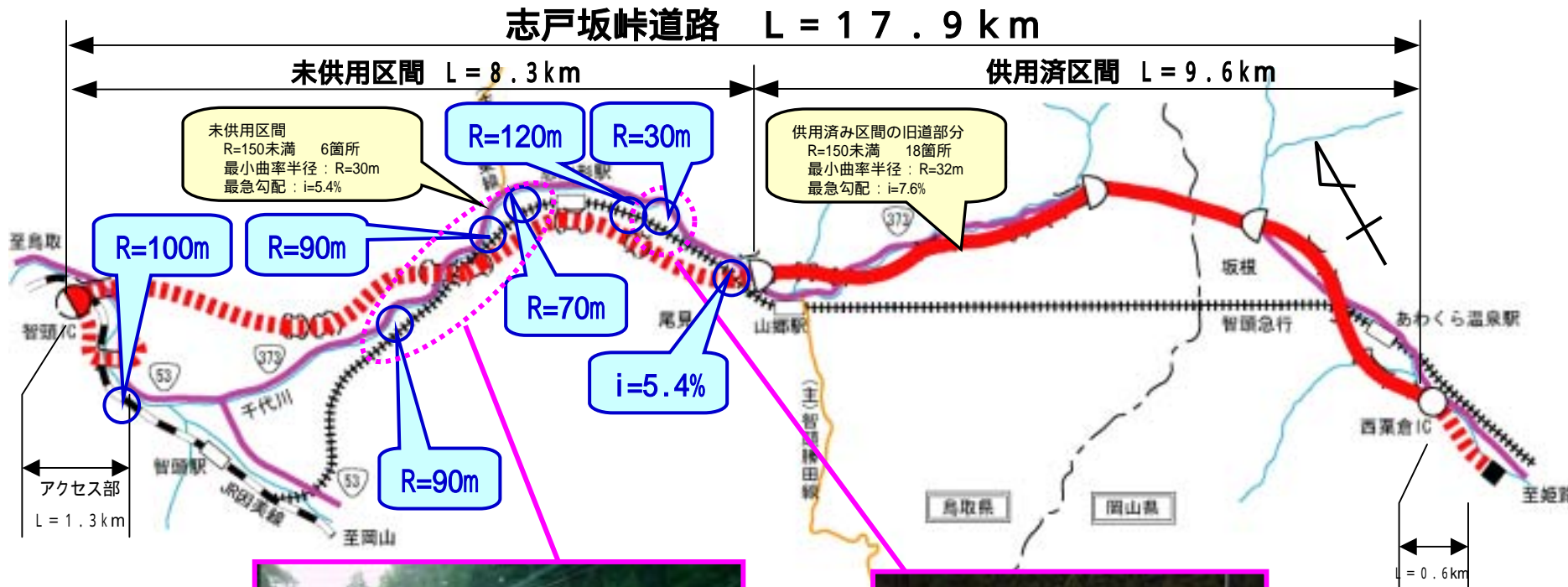
橋梁部



# 現道の状況

## ◆劣悪な道路線形

鳥取・岡山県境付近は狭隘な地形に位置するため、最小曲線半径  $R = 30\text{m}$ 、最急勾配  $5.4\%$  と道路線形が劣悪な状況である。



見通しの悪い  $R=100\text{m}$  以下のカーブが連なる篠坂付近



$R_{\min}=30\text{m}$  馬渡瀬橋地点







# 整備効果

当該区間で、約6分の時間短縮が可能となる。  
線形不良区間の回避が可能となり、幹線道路としての機能が確保されるとともに、沿道の交通環境の大幅な改善が図られる。

## 時間短縮

(未供用区間)



通学児童の横を大型車が通過



車輛すれ違い困難な区間



交通機能の確保 (供用区間)